

# ひの 議会たより

No. 79

平成20年8月発行



有機汚泥処理施設の説明を聞いた

## — 主な内容 —

- 6月定例会・臨時会……………P2
- 意見書・陳情審査……………P2～3
- 条例の一部改正……………P3
- 一般質問（5人）……………P4～8

教育民生常任委員会は、  
黒坂農業集落排水終末処理  
施設から出る汚泥を処理す  
る有機汚泥処理施設を調査  
しました。（関連記事六頁  
～七頁に有ります。）

# 6月 定例会

六月十七日から二十三日までの七日間と会期を定め、一般会計補正予算、条例の一部改正五件などを原案通り可決、意見書一件を提出しました。

## 一般会計 二十八億一千三百十五万円に

一般会計補正予算は、九百四十四万二千円を追加し、総額を二十八億一千三百十五万六千円としました。

### 主なもの

三十二万八千円となった。

#### 【歳入】

#### 【歳出】

○ふるさと納税寄附金

三十万円

○雑入

不足額五百二十二万七千円

これにより平成二十年度の不足額（赤字）は、三千八百

○財政調整基金積立金

四十五万三千元

○リバーサイドひの管理委託料等、施設の修繕

四百九十三万八千円

### 第4回臨時会

五月二十六日開会し、次の三議案に、原案通り可決承認、同意しました。

○専決処分の承認を求めることについて

日野町税条例の一部改正

○日野町教育委員会委員の任命に同意

任期満了と、児童生徒の保

護者選任が義務化されたことによるもの。

・遠藤公俊氏（根雨）

六月五日から四年間

○日野町交流センター（リバーサイドひの）の指定管理者の指定

・指定管理者

（株）M・Aサービス

代表取締役 岡田 文

期間

二十年七月一日～

二十三年三月三十一日

### 陳情審査結果

#### 採択

▽介護保険料の激変緩和措置継続のお願い（陳情）

提出者 鳥取高齢退職者団体連合会長 日置勝彦

▽公的森林整備の推進と国有林野事業の健全化を求める陳情書

提出者 森林労連 全国林野関連労働組合 鳥取森林管理署分会  
執行委員長 酒本滋行

▽ミニマムアクセス米の輸入停止を求める陳情

提出者 農民運動鳥取県連合会代表者 東田 久

#### 趣旨採択

▽最低賃金の引き上げと制度のさらなる改正を求める陳情

提出者 鳥取県労働組合総連合 議長 田中 暁



リバーサイドひの（7月1日オープン）

# 条例の一部を改正しました

## ◎日野町課設置条例の一部改正

総務企画課を「総務課」と新たに「企画政策課」を新設し「第四次総合計画の見直し」や「自主政策推進大綱」の進捗状況の検証などを行うため機構改革に取り組み、体制を整備するもの。

## ◎日野町防災センターの設置及び管理に関する条例の一部改正

総務企画課の名称変更に伴い、総務課に改めるもの。

## ◎日野町監査委員条例の一部改正

自治体の財政危機等により、「地方財政健全化法」に基づく四指標、(一)実質赤字比率(二)連結実質赤字比率(三)実質公債費比率(四)将来負担比率と、基金運用状況の書類を提出するもの。

## ◎日野町国民健康保険条例の一部改正

- 後期高齢者医療制度の創設に伴う負担額の調整。
- 上場株式にかかる配当所得の申告分離課税に係る規定を整備。
- 平成二十年度の適用税率の改正。



町民の生命・財産を守るため待機

## ◎日野町手数料徴収条例の一部改正

・戸籍法の改正に伴う規定変更による関係部分の改正を行うもの。(金額等の改正はなし)

- また、徴収制度や税算出方法など、次のようになりました。
- ①原則として、年金から天引する特別徴収制度の導入
  - ②国民健康保険税の算出方法が変わり、「医療・介護・後期高齢者支援分」に分けて算出。
  - ③〇歳〜七十四歳までの保険税を徴収し、診療報酬支払基金に納める。
- また、負担軽減措置等改正したもの。

## 不採択

▽永住外国人への地方参政権付与を日本政府に求める意見書を採択しないよう求める陳情

提出者 政治結社祖国防衛隊島根県本部  
本部長 山口 寛

## 議員発議で 意見書

ミニマムアクセス米の輸入停止を求める意見書(抜粋)

トウモロコシ、大豆、小麦などの輸入穀物を原料とする食品の値上がりや、飼料穀物が思うように確保できない事態が生まれ、食糧自給率がカロリーで三九割、穀物で二七割という中大きな不安が広がっています。

一、ミニマムアクセス米の輸入を一時中止し、制度の見直しをWTO交渉の場で強力に働きかけること。

内閣総理大臣外、関係大臣に提出しました。

## 町民誰もが住みやすいまちづくりを



松本 利秋議員

### 温室効果ガス・CO<sub>2</sub>削減の取り組みは

松本 地球温暖化の原因となる温室効果ガス・二酸化炭素(CO<sub>2</sub>)排出削減は、行政を始めとして、私たち一人ひとりが考え、行動していかなくてはならない問題です。交通関係での取り組みは、町長 この問題は、地球上で人類・動植物が生命を維持していく上で避けて通れない大きな問題と認識しています。

### 環境を考えバス利用はできないか

松本 今ガソリンも高騰しており、職員、議員が率先して環境問題を考えるきっかけに、月一回でも、マイカー通勤を自粛し、バスを利用することはできないか。

二酸化炭素の削減と運賃収入が見込まれ、まさに一石二鳥の取り組みです。

町長 通勤時にバスの利用促進をはかれば、相乗効果があるのは確かですが、都会のように交通機関が確保された地域であれば可能と思えますが、過疎地域で積極的に推進がはかられるかです。

私としては、町民の皆さんにマイカー利用の自粛を呼び

かけたいと思いますが、それぞれ自主性にお任せする以外に方法は無いと思います。

一般的に職員であれば、公用車の乗り合わせ、車を減らすなど、そのあたりから入っていったらと思います。

### 久住地区等へのバス運行は

松本 現在町営バスが運行されていない久住地区、近江・畑地区への運行。また、経過地である下黒坂地区

等への乗り入れができないか。町は財政難であり、環境を

考えて住民がバスを利用し、その運賃収入を持って、小型車(タクシーバス)によるデマンド方式(事前予約制)で

やれば、久住地区等へのバス運行はある程度可能と思う。町長 町営バスを町内くまなく運行することが、私の願いです。多くの制約があり思うように運行できない現状です。

久住地区は、その代替え案として、黒坂診療所へ通院さ



お年寄りにとってバス対策は必要

れる方は、日野病院の送迎車を利用して頂くよう配慮しています。また近江・畑地区も今後、黒坂診療所で受診される方があれば、日野病院にお願いしたいと考えています。下黒坂地区へは難しく、良い方法があれば実行してみたく、検討課題です。いずれにしても、環境にも配慮しながら時間をかけて取り組みたいと考えます。

### 議会のうごき

日	内容
5月 16日	県議長会監査会・役員会
18日	日野川水防演習
20日	全国町村議会議長・副議長研修会
21日	町商工会総会
21日	全員協議会
22日	西部広域行政管理組合議会懇談会
23日	黒坂小学校運動会
24日	第4回町議会臨時会
26日	西部町村議長会連絡会議
28日	鳥取日野森林組合通常総会
30日	
6月 4日	さつきまつり表彰式
9日	議会運営委員会
10日	例月出納検査
11日	黒坂警察署管内防犯協議会総会
16日	全国過疎地域自立促進連盟理事会
17日	第5回町議会定例会 議会運営委員会 総務経済常任委員会 教育民生常任委員会



佐々木周子議員

## ひとひと 男と女の共同参画 基本目標の進捗は



おいしい味噌汁に舌つづみ

### 計画の進捗状況は

佐々木 平成十五年度に(一)すべての人権(二)あらゆる場面に参画できる(三)少子・高齢社会(四)安心して働ける。それぞれのまちづくりの基本目標で、計画が策定されています。今日までの進捗状況は。町長 この計画は、平成二十二年度を目標として、策定されています。本町は近隣の町と比較しても一歩進んでいると、認識していますが、議会・各種委員会等、参加を敬遠される女性が多いので、参画率は約三〇割で低いと思っています。佐々木 基本目標(四)の中にファミリーサポートセンターや、放課後児童クラブの整備検討

とあるが、どうなっているか。町長 ファミリーサポートセンターについては、町の施策として取り組み、保育所の対応を検証し人口の少ない本町で、組織が必要なのか考えて見たいと思います。教育課長 放課後児童クラブについては、アンケート調査を実施したところ、金銭的なことや、保護者の負担等では要望は下げられました。

### 計画見直しの必要は

佐々木 十五年度の策定当時より人口の減少や、高齢化率の上昇等で、様相が異なっていると、今日まで見直しの必要はなかったのか。町長 計画に掲げていることは、男女共同参画社会を推進する基本的な事項で、特に見直しはしていないが、必要に応じて、追加等の修正を考えています。

### 見直し等の 審議はどこで

佐々木 計画策定委員会の任期は終わっているが、今後の審議はどこで行われますか。町長 活発に活動されている日野町男女共同参画推進会議があるので、意見拝聴しながら

ら取り組んでいきます。

### 住民への情報公開を

佐々木 平成十八年に広報「ひの」で紹介されてから四年経過している。計画の内容や、相談窓口等を今一度周知すべきと思うが、考えを伺います。

町長 情報公開と参画社会形成の観点に立って、繰り返し広報しながら、男・女を問わず、こどもから高齢者まで皆んなが安心して暮らせる、まちづくりを推進していかねればと、強く思っています。



ぼくも・わたしもたのしみ会

18日	17日	15日	14日	11日	10日	10日	7日	6日	1日	7月	30日	28日	23日	19日	18日	
研修会	西部正副議長・局長	懇談会	県町村女性議員研修会	教育委員会委員との	教育民生常任委員会	政調調査来町	大阪府能勢町議会行政調査	総務経済常任委員会	行政調査	議会広報調査特別委員会	西部町村議会議長会	行政調査	西部消防ポンプ操法大会	日野幹線道路総会	西部消防ポンプ操法大会	西部町村議会議長会

## 高齢化集落に 住民サービスを



小谷 博徳議員

### 基本検診検査を集落で

**小谷** 検診受診会場を町内八カ所から二カ所にした結果受診者数が激減しているのでは。  
**町長** 集落の集会所は段差も多く、危険と隣り合わせで、個人情報保護にも問題が多く受診環境が好ましくないなどの理由で十八年より二カ所とした。病院にかかっている対象者は主治医に相談され重複受診をしなくても良い指導もしており、受診率の減少に悩んだと考えている。

**小谷** 受診者激減の主因は、病院にかかっているからと分析しているが、本当に追跡調査をしているのか。  
**健康福祉課長** 追跡調査をし



問われるべき地検診のあり方

たところ、おおむねそういう要素がある。検診会場を二カ所にしても、複数回受診日をもうけ、病院でも予約検診ができ、受診しやすい配慮をしています。

**小谷** 複数回の機会を作っているといっても、受診者数の激減は二会場に絞った影響が大きい。もつと町民の声を聞いて可能な限り集落に出かけて検診をするべきだ。それが住民サービスと考える。

**町長** 住民の皆様の健康保持を第一に考えるならば、特に受診者数の減っている地域の皆さんの意見を聞いてみたいと考えている。

### 自治会活動が困難に

**小谷** 限界集落が進んでくると、集落の自治会活動が機能しなくなってくる。自治会の存亡は町としても影響が大きい。対策はあるのか。

**町長** 自治会の組織なり運営はそれぞれの自治会が行うもので、行政が自治会に関与することはいかなものかと思う。

**小谷** 自治会に行政がとやかくいう必要性は全くない。しかし集落の自治会で役場の文書配りとか、災害寄付金の集



高齢集落のボランティアによる作業支援

金とか大きなウエイトを占めているのも事実である。二ないし三世帯で自治会を運営している集落に、少なくとも行政が関わる部分の心配や、悩みを聞くぐらいの住民サービスはあつてしかりと思う。

**町長** 具体的にはまさにその通りであり、ジゲの役目が困難なほど高齢化が進み、残った者で集落が維持できるのか、本当に由々しき事態であると思っている。では役場としてどこまでやれるのか。妙案をお話していただける状況ではなく、今後の大きな課題であると認識している。

### 有機汚泥処理施設 を調査

教育民生常任委員会は、六月二十三日、黒坂地区農業集落排水終末施設に隣接して設置されている、有機汚泥処理施設を調査しました。

この施設は、昨年十月に松江市の株和喜産業が全額建設費用(約三千五百万円)を持ち試験的に設置したものです。

汚泥を微生物により処理するプラントが正常に機能しているか、問題点はないか等、業者の説明を聞き、施設を調査しました。

集落排水終末施設から流入した汚泥は、六つの水槽を順次通して発酵させ、さらに微生物を入れたチップ槽で最終的に分解処理する仕組みで、水は循環して使用され、汚泥はいっさい外部に放流されない。

臭気もなく、プラントは順調に稼動していました。集落排水終末施設から出る汚泥は、毎月約十トン。この処理に年間三百五十万円支出していたが、このプラントが機能すれば、平成二十年程度から町の費用が、会



佐々木 求議員

## 後期高齢者保険制度と奨学金制度を問う

### 周知徹底不十分な保険制度

**佐々木** 後期高齢者医療保険の保険証の発行は平成二十一年七月末の時点で、前年度の保険料に滞納があれば短期保険証発行の対象とし、九月末までに完納の見込まれる場合交付保留。三ヶ月滞納では短期保険証の発行。有効期限が半年。一年以上の滞納で悪質と判断されたら資格証明書となる。

「滞納者を一律に扱うことのないよう広域連合に働きかけたい」と答弁されてきたが、窓口は役場であり対応が問われる。国民的議論が不十分な中、末端の自治体の意見を本当に反映していない状態ではないか。「資産の活用を図る」とは、具体的にごとまで指導することなのか伺う。

**町長** 滞納状況を十分把握し、広域連合と構成市町村が情報を共有し、接触を持ちながら話し合うことが大切。制度は二年前に国会議決されたが国民によく周知されずに四月スタートし、問題や改善点が浮かびあがっている。困るのは末端の町村だ。広域連合に対し、国にきちんとものを言うように言っている。国会議員

はもつと真剣にやらないと、霞ヶ関の役人任せではこういうことになる。私は遺憾に思っている。町民を守る立場の首長として、事あるごとに皆さん方の意見はあげていく。

### 奨学金制度復活を

**佐々木** 日野病院が黒字となり、機能評価が最高ランク評価を受けた。努力を高く評価する。一方で後期高齢者診療料は医療費抑制を意図している。今後経営を圧迫しかねない。患者数が死者数だけ減る状況を踏まえ、今、自治体としての支援が必要だと考える。

身近な病院・信頼できる病院、「出かける医療」を目指す病院として、周辺町村にアピールをしていく絶好の機会だ。それから雇用の場としても大事で、職員の確保自体が難しい中で、町独自の奨学金制度の復活をぜひ考えるべきだ。若者定住対策にもつながるものだ。

**町長** 高い評価も受け、インターネット、広報で知らせている。今新しい息吹が日野病院にふつと湧き起こっている。奨学金制度を設けただけではいけないので、就職していたかどうかという点についても、病院と検討を重ねている。魅力ある病院へ、町としても支援できる方法を模索していきたい。



人材確保に奨学金制度を

社との契約で基本的に四五割削減されることになっており、全国で初めての施設に期待が寄せられています。



また、「ゴミ」の減量化を図るため、分別収集を推進していく観点から、焼却施設「くぬぎの森」を調査しました。

持ち込みが増え、ストックヤードの不足が目につきました。

今後、減量化で施設の延命化を図ることが不可欠であると思われました。

第78号（平成二十年五月発行）の記事で、十三ページの保育所退所時間「午後六時三十分」を、「午後六時十五分」に訂正します。

# 一般質問

5人が立つ  
その3

## 農村の 環境保全を問う



松原 直人議員

### 農地、水、環境 保全向上活動支援は

**松原** 本町ではこの事業に二地区しか取り組んでいない。将来にわたって農業・農村

基盤を支え、環境保全するには、この補助事業で農業者だけでなく、地域住民、自治会、シルバー人材センター、農協など関係団体などが参加し地域における組織活動の出発点として、他の地区も取り組む事業ではないかと思えます。

共同活動への支援交付金の単価は水田一反当り四千四百円、畑一反当り二千八百円で町の負担は四分の一です。

支出は日当の支払い、草刈り、土砂上げ、資材購入、水路の補修、道路の補修、機械リース、外注費、環境活動に必要な花の種や苗代などで、五年間の活動です。

町の取り組み状況とこの共同活動を他の地区にも広げる考えはないか。

**町長** この事業の目的でありませんが、農地とか農業用水などの資源や農村環境を守り、質を高める地域共同の取り組みに対して支援をしようという制度です。

具体的には、集落が一定のまとまりを持った地域で農業

者だけでなく自治会や学校PTA、地域の各種団体と連携して、農地や農業用施設の保全

管理を行う。そういう農地、水の向上活動はもちろん、農業用施設等における草刈り、家庭からの生ごみを堆肥化して農地に還元する農村環境保全向上活動などを団体と農業者が一体となつて共同活動する事業です。

これまでの推進は、農事組合長会議などで事業の概要説明をしました。中山間地等直接支払い制度と重複するため世話をしてくださる方が見当たらないなどの理由により、下黒坂、下上菅の二地区の実施にとどまっています。

**松原** 地区の実績と評価は。産業振興課長 日野郡は日南町が十四集落、今年度は二集落で、江府町は未実施です。平成十八年八月に農事組合長会議で事業の概要説明をしました。その後、再度取り組み地区の募集をし、十四集落



共同でイノシシ対策を

の方が希望され説明を行いました。結果的に二集落にとどまったというのが現状です。

農道、水路の草刈りや、補修などの維持管理です。

**町長** この制度は地区が抱えている問題を解決しようという事業でありますので、よく精査しながら、取り組んでいただける地区についてはもうひと踏ん張り頑張りたいと思うように啓発をしていきます。

### あとがき

▼七月十六日、中国地方が梅雨明けと発表された。最終的な降水量はほぼ平年並みのことですが、私は空梅雨で日野川の渇水を心配します。

最高気温は三十度を超える厳しい暑さが続く毎日です。体調の管理に十分気をつけましょう。

▼また燃料の高騰、パン・マヨネーズが次々値上がりし、暮らしを直撃しています。

▼そんな中、第五十四回鳥取県消防ポンプ操法大会小型ポンプの部で、日野町消防団第一分団が見事優勝し、全国大会のキップを手に入れました。

十月十二日、全国大会での健闘を祈ります。  
委員 松原直人

次の定例会は  
9月です。

傍聴にお出かけ  
ください。

議会事務局  
(72-0335)